

東方魔霧乃

邪黃乃魔

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

あらすじ

ある男が幻想郷に転生してきた・・・

男は、何をしにきたのか？

皆も謎だったが、ある‘、神‘、は、知っていた。

何故なら・・・

初小説です

目次

幻想郷に転生（プロローグ）

始まりの転生

1

幻想郷に転生（プロローグ） 始まりの転生

『ん．．．』

「ここは？ 確か俺は、幻想郷に．．．」

まさか、ここは幻想郷!? 妖怪達がジロジロ見てくる

だいたい想像は、つくな．．．

く回想く

『ん．．．ここは？ 確か俺は．．．あれ、感覚がなくなってる．．．?』

【君は、錯乱 大知君ですか?】

『は、はい．．．そうですが．．．』

【おお、それは、良かったですら】

『どういう事ですか?』

【君には、霊力・魔力・妖力・神力が有るのです。しかし、他の人を見ないといけないので貴方を見れませんなので貴方には、幻想郷に行つて貰いたいのです】

『え? 嘘ですよ?』

【嘘では、無いです。貴方の能力は、何でも出来る程度の能力です。集中してください。そして今やりたい事を思ってください】

『は、はい』

集中して時を止める能力が出来ると、思った

『集中しましたが・・・ってあれ？止まってる？』

【終わりましたか？】

『はい』

【では、送りますね】

～回想終わり～

で、回想をしてたら女性と、ぶつかった

『あ、すみません!!』

『いえ、大丈夫よ』

『ところで貴方は？』

『私は、アリスよ』

『アリスさんですか・・・』

行きなり原作魔女に会うとか・・・

『ところで貴方は？』

『僕は、錯乱です』

『錯乱君か・・・』

妖怪『てめえらあ、喰つてやるぜえ』

『あ、あ、あよ、妖怪・・・』

『どうしたのですかアリスさん!?』

妖怪『ごちゃごちゃうるせえよお!』爪を向けてきた

『ん?』軽々回避する

ア(か、かっこいい・・・／／／)

『その程度?なら、恋符『C(カオス)ファイナルソード』!』

妖怪『キシヤアアア!』

『大丈夫ですか?』

『は、はい、ところで何処に行こうとしたの?／／』

『紅魔館に行こうとしたのですが・・・』

『紅魔館ねえ・・・ついて来てくれる?』

く移動く

『ここが紅魔館よ』

『ありがとうございます』

『不審人物!?』

いきなり寝ていた門番が攻撃をしてきた

『無泣山茶花守理!』

ガードした

『え? うわあああああ!』

門番が空中から落ちたが

『希菜子SPEED!』

危機一髪で間に合って助けられた

アリスとは、別れた後、門番は、起きた

『貴方はっ……いつ……』

『動かないでね』

く少年治療く

『ありがとうございます。名前を教えてください』

『錯乱です』

『錯乱さんですか……』

『君は?』

『美鈴よ／＼』

『美鈴さんゆつくり休んでくださいね』

門を通過した

く美鈴視点く

『さっきの人かつこいいなあ優しいし・・・な、な、何を考えてるんだろ！私ったら！／＼』

／＼

視点終わりく

錯乱視点く

門をくぐったが・・・

『道に迷った・・・』

とりあえず歩こう・・・（足を滑らせ地下へ

『いつつ・・・ん？ドアだ！』（ドアを開けた

『ん？お兄さん誰え？』

『錯乱だよ』

『錯乱お兄様♪』抱きつく

『君は？』

『私？私フランドール・スカーレット』

『フランちゃんかあ』

『ねえ、錯乱お兄様遊ボウヨ!』

『っ!?』回避しながら集中

『たーのも・・・』

『え?誰だ!』

『お兄様!遊ボウヨ!壊レチャダメダヨ!』

『すまない!今取り込んでるんだ!少しだけボタンタッチ!』

『ええ!』フランの弾幕を回避

『準備完了した!俺に代われ!』

『ok!』錯乱を行かせる

錯乱は、フランを捕まえた

『ハナセエエ!』暴れるな!フラン!』

『お前の気持ちは、わかる!分かるが暴れて何になる!』

『ナニガワカルンダ!』

『分かるよ・・・寂しかったんだろ?苦しかったんだろ!』

『グツウガアア・・・』

『フラン・・・大丈夫だよ・・・俺が付いてるから・・・』

『オ・・・ニイ・・・様・・・う、う、うわあん!お兄様ああ!』

フランの涙がポロポロ落ちている

『フラン・・・大丈夫だ・・・』

～時間経過～

『そろそろ、行くねフラン』

『また来るぜ!』

『うん!』

そして、門をでた

一っ気になったんだが・・・『貴方(貴女)誰(だぜ)?』